

日本発ドイツ便り～動物園に行こう！～

久しぶりにドイツで動物園に行ってきました。ドイツ語で動物園は英語とおなじく「Zoo」と書きますが、発音は「ツォー」になります。もしくは「Tiergarten」(ティアーガルテン:動物公園)と書くところもあります。ドイツでは、都市の観光名所として挙げられるようなステキな動物園がたくさんあります。子供だけではなく、大人も楽しめます。

今回は、ニュルンベルクの Tiergarten に遊びに行ってきました。もちろん、ここの動物園にいるある動物を見るためです。

街の中心から路面電車で約 10 分。途中から電車は森の中へ。木がたくさんあっていい感じです。



入場券を買って中に入ります。市立なので、入場券で帰りの路面電車も無料になります。



ここでは動物の健康のため、入場者が勝手にエサをやるのは禁止されています。これはうっかり知らずにもってきたエサを預けることです。

ここの動物園は初めて来たのですが、広くて木がたくさんあって、全体が森の中にあるみたいです。



場内で貸してくれるベビーカーはこんな感じ。



またこれはドイツの動物園はどこもそのようですが、猛獣とされる肉食動物を除けば「檻」がありません。またスペースもかなり(日本に比べると)広めです。これは象さんのお住まい。



今回見に来たのは、この動物園で去年の12月に生まれた北極熊の赤ちゃん。同じくドイツでは、ベルリンの動物園で、母親が育児放棄をしたため、動物園の飼育チームにより育てられることになった北極熊の「クヌート」が世界的に有名になりました。このニュルンベルクの北極熊の赤ちゃんも同じような感じ。こちらは女の子で名前は「Flocke」(フロッケ:日本語なら「小雪ちゃん」って感じの名前です)4月から一般に公開されています。

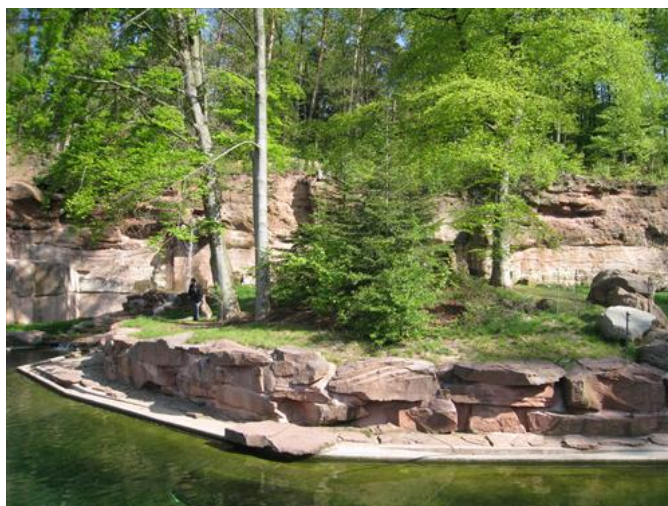


ニュルンベルク動物園のポスター。「Knut war gestern.」(クヌート・ヴァー・ゲスターン:訳せば、「クヌート(ベルリンの白熊)はもう古いぜ。」って感じです。)なんか気に入ってしまいました。



なんせ園内は広いので、時々ある「フロッケこっち。」みたいな道しるべを頼りに進みます。今のところ、フロッケの公開は朝・昼・夕方のそれぞれ1.5~2時間なので、実際に行くときは時間を確認してくださいね。

そして到着！なんと、特設観客席まで用意されているではないですか！



フロッケのお住まい。実際はこの倍くらいの広さです。で、最前列にするすると入り込み、フロッケを探しました。



なんと、フロッケさんは、泥遊びの真っ最中で、顔を見なければ、普通の茶色い熊・・・。どこかのちびっ子が「ママー、フロッケ白くまじゃなくて、泥熊ー。」と文句を言っていました。(なかなか上手いこと言っな、このちびっ子、と感心。)でも泥遊びだっしたいよね。飼育係のシュテフィーさんにくっつくフロッケ。



みんな小声で、「シュテフィー！水に入れて～！」と願うのですが、当のフロッケ、水際までは来るけど、どうも水泳という気分ではないようで・・・。



バケツと遊びに行っていました。



そんなこんなでしばらく見ていましたが、本当に可愛い！です。丁度日曜日だったので、家族連れが続々とやってきます。ベンチに木陰、芝生はいくらでもあるので、お弁当を持ってちょっとしたピクニックですね。もちろん、ソーセージの屋台、レストラン、なんでもあります。



フロッケグッズも豊富です。一頭連れて帰ろうと思っていたのに、すっかり忘れて大後悔。都市観光もいいですが、たまには、都市の中で自然と動物に触れてみるのは・・・。いかがですか？